

LEDドライバ③

開発中

ESリリース中

電源電圧基準であり、外部接続により光量を設定できるLEDドライバ！

RT8H104C

□概要

本製品はLEDの駆動に適しており、LEDの光量を設定することが可能です。電源電圧VCC側に接続された抵抗RCSによる電圧降下分をCSP端子により検出し、LEDに流れる電流を調整できます。また、CT端子に外部接続する抵抗と容量で、オフ時間の設定が可能となります。また、内部機能として、電源電圧低下を検出するUVLO機能と、外部信号による、調光機能を有しています。

□特長

- UVLO機能(VCC=約5.0V以下で検出)
- 調光機能
(DIM端子に矩形波を入力することで調光可能)
- CT端子に容量・抵抗を外部接続で電流調整可能
- パッケージ(SC-74)

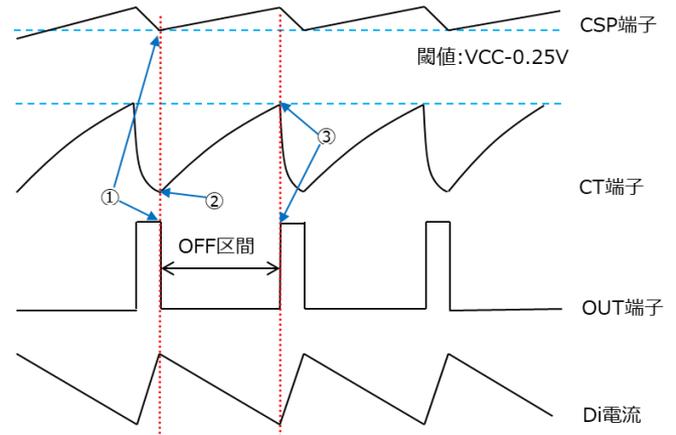
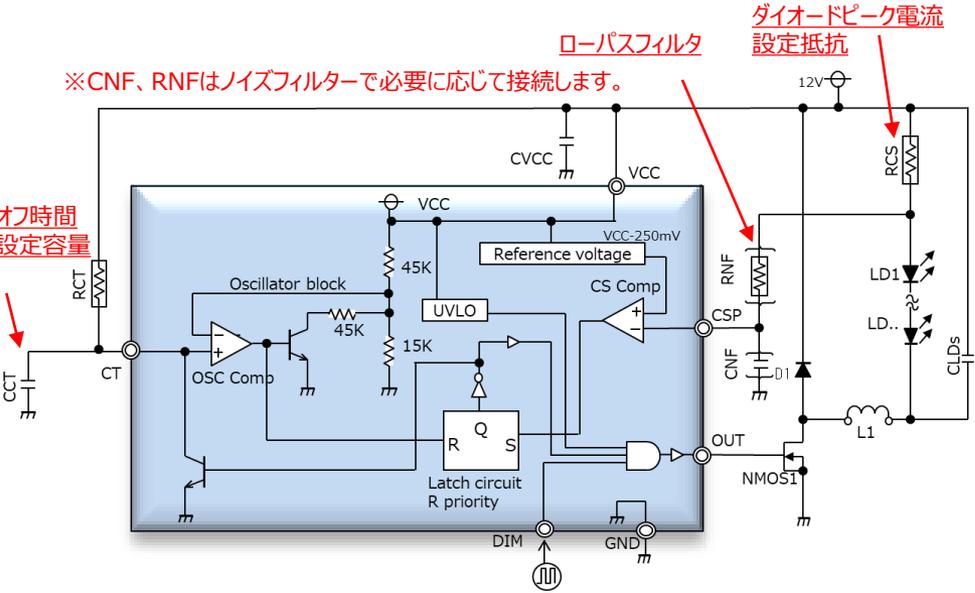
□用途

- LED駆動回路

□内部等価回路・応用回路図

□タイミングチャート

(左記応用回路図に基づくタイミングチャートとなります)



- ① CSP電圧が内部閾値電圧を下回った時、OUT電圧がLOWになります。
- ② OUT電圧がLOWになると共にCT端子の容量に充電が始まります。
- ③ CT端子電圧が閾値を超えた時、OUT電圧がHIGHになり、CT電圧が放電を始め、CSP電圧が減少します。(以降①→②→③の繰り返し)